

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和8年1月29日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

0歳児…葉っぱにふれてみよう

<テーマ設定理由>

・戸外遊び中に畑のかぶを見て、葉を引っ張っていたので、収穫して保育室で見た。かぶや葉に触れて、素材の感触や形に気づき、見たり触れたりしながら探索を楽しむ。  
入れる・出す・移し替える操作を通して、自分でやってみたい気持ちを育む

## 2.活動スケジュール

・一人ずつで行う。

## 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・かぶ
- ・トレー
- ・水



## 4.探究活動の実践

<活動内容>

・葉のついたかぶをトレーに入れ、子どもが手を伸ばして触れられるように提示する。  
・空き容器、浅めのトレーを用意し、入れる・出す・移し替える探索ができるようにする。  
・探索対象をかぶと葉に絞り、保育士は言葉かけを控えて近くで見守り、必要に応じて短く受け止める。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・かぶの葉をじっと見てから、手を伸ばし、葉をつまんで持ち上げ別の器に置く。

・葉を一枚一枚持ち上げ、頭を横にした見角度を変えるなどしながら、葉をじっくりと見る。

・棒（茎）に気が付いて茎を目の前に持ってきて眺め、口もとへもっていき、口で確かめる。

・茎の感触を確かめると、微笑み側にいる保育士に見せる。

・保育士がかぶを見せると手を伸ばし、茎の部分を握って持ち上げる。

・かぶの根っこが気になり、葉を下に向けてかぶを両手でしっかりと持ち、かぶを見る。

・根っこの部分に気が付き、細長いところを、下から上に向けて指先で触れて繰り返す。

・保育士がトレーに水を流している様子を見る。

・「んん」と手を出して「自分もやりたい」と仕草で伝え、容器の中に水を入れて見る。

## <振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動は、かぶに興味を持ち、かぶに指差して「やりたい」と仕草で伝えてきたことから始まりました。色ついた葉を子どもが一枚ずつ大事そうに手に取り、じっと見つめたり持ち上げて入れ物へ移し替えている姿が印象的でした。春から葉に触れてきた経験が、「見たい」「確かめたい」という気持ちにつながり、探索が広がってきていると感じました。また、言葉かけを控えてそばで見守ることで、視線や手の動きから探求の瞬間がより伝わってきました。最後に、葉の入ったトレーに水を入れ、屋外で氷を作る準備をすると、子どもたちは「氷になる」ことを理解している様子はないものの、保育士の動きを見ながら一緒に水を入れようしたり、トレーに手を伸ばしたりして関わる姿が見られました。次は、自然な氷になった様子を行う予定です。今後も子どもの気づきを大切に、安心して試せる関わりを続けていきたいです

